

Ch.ホグウッド

●第7回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン「没後250年記念フェスティバル」企画4

オラトリオ《陽気の人、ふさぎの人》HWV 55

オード《聖セシリアの祝日のためのオード》HWV 76

2曲連結演奏=現代世界初演 字幕付き

世界の巨匠がHFJとともに奏でる最もイギリス的な音楽



2010.2.13(土)

浜離宮朝日ホール

15:00開演/14:30開場 (18:30終演予定)

指揮：クリストファー・ホグウッド

独唱：佐竹由美、波多野睦美、辻裕久、牧野正人

合唱&管弦楽：キャノンズ・コンサート室内合唱団&管弦楽団



■入場料(全席指定)：S=10,000円 A=8,000円
学生=5,000円(当日のみ)

【チケット取り扱い】アレグロミュージック

03-5216-7131

東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

*学生券・・・アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会 制作統括/監修：三澤寿喜

助成：芸術文化振興基金助成事業 財団法人朝日新聞文化財団 財団法人花王 芸術・科学財団 財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

協力：朝日新聞社 Zimaku 久保田チェンバロ工房(チェンバロ) 石井賢(ポジティブ・オルガン) 池上ルーテル教会

後援：インターナショナル・ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツハレ) ヘンデル・ハウス財団(ドイツハレ) アメリカ・ヘンデル協会

マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131

問い合わせ：HFJ事務局(三澤) 0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org ●ヘンデル・フェスティバル・ジャパン公式HP <http://www.handel-f-j.org/index.html>

■ 第7回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HFJ2009 企画4 三澤寿喜

2003年から活動を開始したHFJはこれまで知られざる名作を中心とした意欲的なプログラミングで注目を集めています。

ヘンデル没後250年にあたる2009年のシーズンは全4企画を計画していましたが、本企画は記念年シーズンの最後を飾るもので、ヘンデルの最高権威ホグウッド氏を指揮者にお迎えし、極めて「イギリス的な作品」を上演いたします。《陽気の人、ふさぎの人》はイギリスの誇る17世紀の詩人J. ミルトンの詩を原作としています。ここでは、イギリスの美しい田園や都会の暮らしを描きながら、「陽気」と「ふさぎ」という二つの気分が論争します。連結上演する《聖セシリアの祝日のためのオード》も17世紀のイギリス詩人J. ドライデンに依ります。イギリスには17世紀以来、11月22日を音楽の守護聖人セシリアの祝日と定め、これを祝う習慣があるのです。

以下は、マエストロから日本のヘンデル愛好家の皆様へのメッセージです。

日本のヘンデル愛好家の皆様へ

ヘンデル：《陽気の人、ふさぎの人》と《聖セシリアの祝日のためのオード》

すべてのヘンデル愛好家にとって、今年は没後250年記念という特別の祝賀シーズンです。このたび、ヘンデル・フェスティバル・ジャパンの記念シーズンの最後を飾る最大のプロジェクトに関わることができますことを、私は大変嬉しく思っています。

今回、ヘンデル・フェスティバル・ジャパンと私は、大変珍しい構成で、《陽気の人、ふさぎの人、中庸の人》を再現することにしました。それはヘンデルが1743年に上演したもので、このオラトリオの最初の2部、《陽気の人》と《ふさぎの人》に、《聖セシリアの祝日のためのオード》を連結したものです（この形での上演をヘンデルはその後1回しか行っていません）。ヘンデルは、極めて18世紀的妥協の産物である《中庸の人》を削除することで、詩人ジョン・ミルトン本来の意図に立ち還り、さらに、グランド・フィナーレとして1739年に作曲・初演したドライデンの詩による音楽讃歌《聖セシリアの祝日のためのオード》を加えたのです。

この組み合わせによる公開上演はおそらくヘンデル時代以降、初めてのものとなります。さらに、本公演は、1743年の上演時にコントラルトのシバー夫人のために特別に移調し、書き直されたアリア The soft complaining fluteの現代初演の場ともなります。この異稿はこれまで出版されたことがなく、今回の演奏会のために私が特別に校訂したものです。このユニークなヘンデル祝賀演奏をお楽しみいただければ幸いです。

2009年1月19日
クリストファー・ホグウッド

出演者 プロフィール

クリストファー・ホグウッド Christopher Hogwood (指揮)

1941年イギリス生まれの指揮者、ハープシコード奏者、音楽学者。ケンブリッジ大学ペンブローク・カレッジに学ぶ。1973年、自ら「アカデミー・オヴ・エンシェント・ミュージック」を結成、数多くのバロックや古典音楽の初演も行い、今日の古楽ブームの火付け役となった。現在では「エンシェント」の指揮は後進に譲り、世界各地でのコンサートや録音活動を精力的に展開するばかりでなく、研究者としても数多くの著書・論文を執筆している：[HANDEL]：邦訳『ヘンデル』三澤寿喜訳、東京書籍、など。また、「ハレ・ヘンデル新全集」の校訂者であり、2007年のヘンデル作品の演奏・執筆活動が評価され、2008年6月開催の「ハレ・ヘンデル・フェスティバル2008」にて「ヘンデル賞」が授与された。

佐竹由美 Naomi Satake (ソプラノ)

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。博士号取得。ロータリー国際親善奨学生としてミラノに留学。第53回日本音楽コンクール第2位、ノバラ市国際声楽コンクール第2位、ライブツィヒ第8回パッパ国際コンクール第4位入賞。その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱で常に高い評価を得ている。2009年文化庁海外派遣奨学生としてニューヨークへ留学。国立音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。

波多野 睦美 Mutsumi Hatano (メゾ・ソプラノ)

英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。リート歌曲でデビュー、国内外で高い評価を得る。関宮芳生作品のアメリカでの世界初演、サイトウキネン、武満徹メモリアル、新国立劇場でのモンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》、北とびあ国際音楽祭でのモーツァルト《イドメネオ》等、コンサート、オペラ出演で活躍。CD作品も数多く、2009年高橋悠治との共演で「ゆめのよる」、2010年バーセル歌曲集「ソリチュード」を発表。

辻裕久 Hirohisa Tsuji (テノール)

HFJ実行委員。東京藝術大学声楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。1994年故ダイアナ妃後援による《メサイア》公演のソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、オペラ、オラトリオ、古楽のソリストとして国内外で活躍。CDに『ベンジャミン・ブリティン歌曲集』I、II、『ヴォーン・ウイリアムズ歌曲集』、『ベリニーニ歌曲集』、『メサイア』など。公式HP：<http://www.soundinternationaljapan.com>

牧野 正人 Masato Makino (バリトン)

所属する藤原歌劇団では《椿姫》《アイダ》《ボエーム》などに出演。新国立劇場にも《リゴレット》《ナブッコ》《セビリアの理髪師》など度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。ジローオペラ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロシア二協会会員。

合唱&管弦楽 キャンonz・コンサート室内合唱団&管弦楽団 (HFJ 専属)
CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR & ORCHESTRA

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.7 (HFJ 2009) THEME: "The 250th Anniversary of Handel's passing"

PROJECT IV
Oratorio L'Allegro and il Penseroso (HWV 55)
Ode for St. Cecilia's Day (HWV 76)

15:00, Saturday, 13th February, 2010

Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo

Cond: Christopher Hogwood
Naomi Satake (S) Mutsumi Hatano (A) Hirohisa Tsuji (T) Masato Makino (B)
Choir & Orchestra: CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR & ORCHESTRA

Tickets: S=¥10,000 A=¥8,000 Students=¥5,000

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引き)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。

お申し込み、お問い合わせ: HFJ支援会事務局 jimukyoku@handel-f-j.org



浜離宮朝日ホール

中央区築地 5-3-2
Tel. 03-5541-8710

- ・都営地下鉄大江戸線・築地市場駅 A2 出口、3分。
- ・地下鉄日比谷線・東銀座駅6番出口 築地駅1, 2番出口から徒歩7-8分。
- ・都営浅草線・東銀座駅6番出口から徒歩7-8分、新橋駅から約15分。
- ・JR新橋駅銀座口から徒歩約15分。
- ・新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】中央卸売市場行きまたは【朝日新聞循環】環で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。

※駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用ください。
(問い合わせ先: 03-3542-0341)